

平成20年10月6日

国土交通省道路局長 様

雄武町長 田 原 賢



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道雄武町

国土面積の20%を占める北海道は、国土の保全や環境管理の面、さらに日本全体の食料基地として重要な位置を占めているが、積雪寒冷、人口減少（過疎化）、他都府県より早く進む少子高齢化など抱える課題が山積されている。また、エネルギー革命に伴う石炭から石油への交代、農村や漁村から都市部への人口移動による過疎化など新たな問題も生まれ、これを解決できないまま現在に至っている。今後、北海道の道路整備計画が下方修正された場合、地方の自立と活性化を踏まえた地域振興の基盤整備が遅れることになり、地域間格差も大きくなっていくものと考えられたため、北海道の道路整備は引き続き優先度の高い道路政策として重点的に実施すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

- 1 地域の現状と抱える課題

北海道雄武町

○現状

道路網については、近年、国道238号の拡幅事業や道道美深雄武線の整備が進められるとともに、町道、農道、林道の整備が進められてきた。

冬期は厳しい気候となり、荒天時の交通の確保や、冬型の事故対策が重要である。

○課題

自動車交通の発展は、町の産業や生活水準の向上に欠かせないことから、今後も、国・道と連携しながら、計画的な整備を進めるとともに、除雪や凍結路面などの冬道対策を一層充実していく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

- 2 地域の目指すべき将来像

北海道雄武町

生活環境の改善や産業の振興に結びつく路線の維持・確保を図る。

除雪や路面凍結対策、堆雪対策、吹雪対策など、冬の安全対策を強化するとともに、歩行者空間の確保や交通安全施設の設置、沿道景観づくりなど、人と環境にやさしい道づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道雄武町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	一般国道２３８号雄武町沢木地区の整備 雄武町沢木地区は、一般国道２３８号オホーツクラインの中間口ケーションとして、産業及び観光の要衝となっており、大型車両の通行量増加とともに農業用トラクター等の低速車両の混在化による道路停滞等の交通障害状況にあることから、沢木地区一帯における安全・安心な道路交通確保を図りたく、早期の改善整備が必要である。	当該道路は、勾配のきついアップダウン道路と急カーブ道路が続いているが、これを解消することにより、平均的な車両速度が確保され、安全かつ環境の保全（エンジンに負担がかからない）にもつながるとともに、快適な道路空間が生み出される。	